

厚生労働科学研究費補助金
がん対策推進総合研究事業研究事業
全国がん登録の円滑な運用のための検証に関する研究
令和4年度 研究報告書

研究代表者 東 尚弘

令和5年（2023）年 5月

目 次

I. 総括研究報告	
全国がん登録の円滑な運用のための検証に関する研究 -----	4
研究代表者 東 尚弘	
国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター センター長	
II. 分担研究報告	
1 匿名化手法の検討・評価に関する研究 -----	7
研究分担者 南 和宏 統計数理研究所教授	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	8

厚生労働行政推進調査事業費補助金（がん対策推進総合研究事業研究事業）
（総合）研究報告書

全国がん登録の円滑な運用のための検証に関する研究

研究代表者 東 尚弘 国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター センター長

研究要旨

がん登録等の推進に関する法律に基づき全国がん登録は2016年診断症例以降、全国の病院から義務的届出が開始され、2019年に初年罹患数が初めて発表され、2020年には2017年罹患数が発表されたが、それらの数の動きは制度の変わり目による影響が考えられる。この制度変革による罹患数の影響は今後も追跡して安定を検討すべきである。また、予後情報の精度や利活用における提供データの安全性についても定量的な評価による検討が行われるべきであると考えられる。

本研究では、これらの検討を目標に、それぞれ解析を計画し、最終年度では、データの質評価として制度移行の影響のモニタリング、予後情報の精度について評価を行った。また、データ匿名化の安全性評価の確立を目指し、提供されるデータの安全性について、k-匿名化による評価・検討を行ったほか、医療系マイクロデータであるがん登録情報を対象に、地域情報の匿名化を柔軟に行う匿名化アルゴリズムを開発し、その有用性に関する実証的評価を行った。

これらの研究結果から、診断施設不明例は、制度安定化を評価するための指標の一つになると考えられた。また、k-匿名化及び匿名化アルゴリズムの活用により、より安全かつ有用な全国がん登録情報の提供が可能になると考えられた。

研究代表者 東 尚弘 国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター センター長
研究分担者 祖父江 友孝 大阪大学・大学院医学系研究科・教授
研究分担者 増田 昌人 琉球大学病院 がんセンター センター長 診療教授
研究分担者 南 和宏 統計数理研究所 データ科学研究系 教授
研究分担者 塚田 庸一郎 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター 院内がん登録室長
研究分担者 榊原 直喜 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター全国がん登録分析室 研究員
研究協力者 藤下 真奈美 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター 全国がん登録室長

A. 研究目的

がん登録等の推進に関する法律に基づき全国がん登録は2016年診断症例以降、全国の病院から義務的届出が開始され、2019年に初年罹患数が995,131例発表された。前年の2015年地域がん登録の罹患数903,914例から約9万例増加しており、地域がん登録の毎年数万例程度の増加に比べると急な増加である。これは制度移行の影響と考えられている。

全国がん登録制度の運用の安定化と改善と信頼の

ためには①データの質評価と、②全国がん登録情報の提供におけるデータ匿名化の安全性評価の確立の2点が必要不可欠である。本研究は特にデータの質と安全なデータ利用について、全国がん登録制度の健全な運営を確保するための検証を行い、体制に反映させることが目的である。

B. 研究方法

①データの質評価

全国がん登録の届出数や情報内容の質を評価するため、全国がん登録の運営上で算出される指標を設定し、制度移行の影響などについてのモニタリングを行った。

また、予後情報の精度を評価するために、国立がん研究センター中央病院の院内がん登録の2016年症例、2017年症例（通院継続者を除く）について、住民票照会による追跡等で、生存状況の評価を行った。

②データ匿名化の安全性評価の確立

提供における匿名化個票の安全性確保、データ公表における秘匿性と有用性確保のバランスについて以下のような検討を行った。

1) 匿名化された情報の提供における安全性の検討

2016年、2017年の匿名化された全国がん登録データを用い、提供されるデータの安全性について、k-匿名化による評価・検討を行った。

2) 全国がん登録情報の匿名化指標の開発

がん登録情報の地域情報に国土交通省の位置参照情報を結合し、地域の位置座標に基づき地域領域を柔軟に分割する匿名化アルゴリズムを開発した。この提案手法の有効性を示すため、従来の地域レベルの調整による匿名化アルゴリズムも合わせて実装し、匿名処理で生成されるグループ間の均一性を有用性の指標として両者の比較を実証的に行った。

C. 研究結果

①データの質評価

制度移行の影響のモニタリング指標として、「診断施設不明例」の経過を集計値で追跡したところ、2016年は69,141例(7.0%)、2017年は59,606例(6.1%)、2018年は54,489例(5.6%)、2019年は49,482例(5.0%)と漸減傾向であった。

また、予後情報の精度については、2019年の全国がん登録の死亡情報と突合したところ、院内で生存状況が確認できた16,890名(生存11,327名、死亡5,563名)のうち、死亡が確認されている者で、全国がん登録でも死亡が確認できた者は5,529例(99.4%)、確認できなかった者は34名(0.6%)であった。また、院内で生存が確認された者は全国がん登録でも全て生存が確認でき(100%)、ほぼ実態に近い生死状況を把握できていた。

②データ匿名化の安全性評価の確立

1) 匿名化された情報の提供における安全性の検討

基本的な安全性確認のため、ICD-10のみ、ICD-0-3の部位コードのみ、ICD-0-3部位コードと組織型コード、さらに性別、年齢を組み合わせた時のk-匿名化の評価として、ユニーク(k=1)となる症例を集計した。ユニークになるものはICD-0-3の部位分類のみで58件、ICD-10分類では86件、部位組織分類まで含めると4639件であった。

2) 全国がん登録情報の匿名化指標の開発

今回の提案手法をがん登録情報の住所情報に適用したところ、既存の地域レベルを調整する匿名化アルゴリズムと比較して、グループ間の均一性を定量化するDiscernability指標において、5%から16%の改善が確認された。また同一グループに含まれる地域情報の隣接性についても従来手法の結果に比べて際立った改善が実現できることが示された。

D. 考察

全国がん登録制度の安定化を図るには、データの質評価が重要である。登録数や情報内容の質は、制度としての安定性に関連しており、制度移行における罹患統計への影響を反映した指標としては、診断施設不明例の数・割合、前届出件数、整理症例数割合などが考えられる。本研究では、モニタリング指標として診断施設不明例を用いたが、最新年では5~6%の減少傾向を認めており、今後も精度は向上していくものと考えられた。

また、予後情報の精度については、国立がん研究センター中央病院の院内がん登録症例を用い、住民票照会による追跡等で評価を行った。登録精度については、都道府県によって多少ばらつきがあることに留意する必要がある。

提供されるデータの安全性についてのk-匿名化による評価・検討では、ICD-0-3の部位分類のみ、ICD-10分類のみ、部位組織分類のみの場合においてユニーク(k=1)となる症例を削除しても、全体の件数は200万件以上のためデータの有用性という意味では特に問題ないと思われた。一方で、ICD-0-3の部位・組織分類やICD-10分類、性別、年齢を加えるとユニークな症例が増えるため、必要な項目とその有用性に応じて検討をする必要があると考えられた。

E. 結論

データ提供における匿名化個票の安全性確保、データ公表における秘匿性と有用性確保のバランスの双方に関して、これまでの検討を踏まえた解析を行った。

これらの研究結果から、「診断施設不明例」は、制度安定化を評価するための指標の一つになると考えられた。また、k-匿名化及び匿名化アルゴリズムの活用により、より安全かつ有用な全国がん登録情報の提供が可能になると考えられた。

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書
匿名化手法の検討・評価に関する研究

研究分担者 南 和宏 統計数理研究所教授
研究代表者 東 尚弘 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センターセンター長

研究要旨： がん登録情報に含まれる地域情報を位置座標に基づき、再帰的に分割する新規匿名化手法を開発した。提案された方法は、地理情報の粒度を柔軟に調整し、k-匿名化のためのレコードのグループが、従来の一般化手法よりもはるかに均一化できることを実証的に示した。

A. 研究目的

全国がん登録の情報には、医療機関の受診者に関する機密情報が含まれており、がん登録情報を用いた調査研究を行う際に、匿名化データからの機密情報が外部に漏洩しないような安全性の担保が必要である。現在、匿名化データの代表的な安全性指標として、k-匿名性および、その派生指標が多く提案されているが、がん登録情報に対して具体的にどの手法を選択すべきかその要件は明らかでない。本研究では、匿名データにおける安全性と有用性の適切なバランスを実現する匿名化手法の確立を目指す。

B. 研究方法

医療系マイクロデータであるがん登録情報を対象に地域情報の匿名化を柔軟に行う匿名化アルゴリズムを開発し、その有用性に関する実証的評価を行った。具体的には、がん登録情報の地域情報に国土交通省の位置参照情報を結合し、地域の位置座標に基づき地域領域を柔軟に分割する匿名化アルゴリズムの開発を行った。この提案手法の有効性を示すため、従来の地域レベルの調整による匿名化アルゴリズムも合わせて実装し、匿名処理で生成されるグループ間の均一性を有用性の指標として両者の比較を実証的に行った。

C. 研究結果

今回の提案手法をがん登録情報の住所情報に適用したところ、既存の地域レベルを調整する匿名化アルゴリズムと比較して、グループ間の均一性を定量化する Discenability 指標において、5%から 16%の改善が確認された。また同一グループに含まれる地域情報の隣接性についても従来手法の結果に比べて際立った改善が実現できることが示された。

E. 結論

位置座標を利用する匿名データのグループ化処理において、生成されたグループの粒度が、地域レベルの一般化階層に基づく一般化処理よりもより均一性が実現できることが示された。

F. 健康危険情報

なし。

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし。

2. 学会発表

1) 南 和宏. 公的統計における匿名化の取り組み. 日本計算機統計学会 JSCS フォーラム 2023「公的統計・レジストリデータの利活用～安全性と利便性の狭間で～」. 2023

2) Yutaka Abe, Kazuhiro Minami. Matching Attacks on Non-deterministic Algorithms for Cell Suppression Problem for Tabular Data, 2022 IEEE International Conference on BigData. 2022

3) Yuxin Liu, Kazuhiro Minami. Flexible Partitioning of Geographical Information based on GPS Coordinates for k-Anonymity. 2022 IEEE International Conference on BigData. 2022

4) 南 和宏. 差分プライバシーな合成データ生成技術の動向. コンピュータセキュリティシンポジウム. 2022

5) 南 和宏. 公的統計における擬似データのプライバシー保護と安全性評価. 2022 年度統計関連学会連合大会. 2022

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍 なし

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Watanabe T, Rikitake R, Kakuwa T, Ichinose Y, Nino M, Mizushima Y, Ota M, Fujishita M, Tsukada Y, <u>Higashi T.</u>	Time to treatment initiation for six cancer types: An analysis of data from a nationwide registry in Japan.	World Journal of Surgery	47(4)	doi: 10.1007/s00268-022-06883-5.	2023 1月
Ishii T. Watanabe T, <u>Higashi T.</u>	Differences in the performance of adjuvant chemotherapy between hemodialysis and non-hemodialysis patients.	Cancer Medicine.	12(4)	doi: 10.1002/cam4.5258.	2022 9月
Okuyama A, Watabe M, Makoshi R, Takahashi H, Tsukada Y, <u>Higashi T.</u>	Impact of the COVID-19 pandemic on the diagnosis of cancer in Japan: analysis of hospital-based cancer registries.	Jpn J Clin Oncol.	52(10)	doi: 10.1093/jjco/hyac129	2022 10月
Ishii T, Watanabe T, <u>Higashi T.</u>	Baseline cardiac function checkup in patients with gastric or breast cancer receiving trastuzumab or anthracyclines.	Cancer Med.	12(1)	doi: 10.1002/cam4.4929.	2022 6月
Kanehara R, Goto A, Watanabe T, Inoue K, Taguri M, Kobayashi S, Imai K, Saito E, Katanoda K, Iwasaki M, Ohashi K, Noda M, <u>Higashi T.</u>	Association between diabetes and adjuvant chemotherapy implementation in patients with stage III colorectal cancer.	J Diabetes Investig.	13(10)	doi: 10.1111/jdi.13837.	2022 6月

<u>Higashi, T.</u>	Cancer epidemiology and treatment patterns for older persons in Japan: A review of nationwide data and statistics.	Jpn J Clin Oncol.	52(4)	doi: 10.1093/jjco/hyac011	2022 4月
<u>東 尚弘</u>	医療の質を評価して改善することの社会的意義	medicina	59巻11号	Page1818-1821	2022
<u>東 尚弘</u> 、 <u>中山 富雄</u>	がん検診の質の考え方	medicina	59巻11号	Page1966-1969	2022
Chen Y, Abe SK, Inoue M, Yamaji T, Iwasaki M, Nomura S, Hashizume M, Tsugane S, Sawada N	JPHC Study Group. Green tea and coffee consumption and risk of kidney cancer in Japanese adults.	Sci Rep	24;12(1):20274.	doi:10.1038/s41598-022-24090-z	2022
Narii N, Sobue T, Zha L, Kitamura T, Iwasaki M, Inoue M, Yamaji T, Tsugane S, Sawada N	Effectiveness of endoscopic screening for gastric cancer: The Japan Public Health Center-based Prospective Study	Cancer Sci	113(11):3922-3931	doi: 10.1111/cas.15545	2022
Narii N, Sobue T, Zha L, Kitamura T, Sawada N, Iwasaki M, Inoue M, Yamaji T, Tsugane S.	Vegetable and fruit intake and the risk of bladder cancer: Japan Public Health Center-based prospective study.	Br J Cancer	126(11):1647-1658	doi: 10.1038/s41416-022-01739-0.	2022
Narii N, Zha L, Sobue T, Kitamura T, Shiba S, Mizutani S, Yamada T, Yachida S	Association between Diet and Fusobacterium nucleatum in the Feces of Healthy Adults: A hospital-based cross-sectional study	Cancer Prev Res (Phila).	CAPR-22-0399	doi: 10.1158/1940-6207.CAPR-22-0399	2022
<u>Yutaka Abe</u> , <u>Kazuhiro Minami</u>	Matching Attacks on Non-deterministic Algorithms for Cell Suppression Problem for Tabular Data	IEEE International Conference on BigData (IEEE BigData),			2022

Yuxin Liu, <u>Kazuhiro Minami</u>	Flexible Partitioning of Geographical Information based on GPS Coordinates for k-Anonymity	IEEE International Conference on BigData (IEEE BigData)			2022
Wakana Maeda, Yuji Higuchi, <u>Kazuhiro Minami</u> , Ikuya Morikawa.	Membership Inference Countermeasure With a Partially Synthetic Data Approach.	he 4th International Conference on Data Intelligence and Security			2022
Hajime One, <u>Kazuhiro Minami</u> , and Hideitsu Hino	One-bit Submission for Locally Private Quasi-MLE: Its Asymptotic Normality and Limitations	he 25th International Conference on Artificial Intelligence and Statistics (AISTATS)			2022
Yamamoto S, <u>Sakakibara N</u> , Hirano H, Morizane C, Honma Y, Hijioka S, Okusaka T, Higashi T, Kawai A	The real-world selection of first-line systemic therapy regimen for metastatic gastroenteropancreatic neuroendocrine neoplasm in Japan.	Sci Rep	12(1):17601	doi: 10.1038/s41598-022-22718-8	2022

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 国立研究開発法人国立がん研究センター

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 中釜 齊

次の職員の（令和）4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 全国がん登録の円滑な運用のための検証に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) がん対策研究所がん登録センター・センター長

(氏名・フリガナ) 東尚弘・ヒガシタカヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立がん研究センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 統計数理研究所

所属研究機関長 職名 所長

氏名 椿 広 計

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 全国がん登録の円滑な運用のための検証に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) データ科学研究系・教授
 (氏名・フリガナ) 南 和宏・ミナミ カズヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人大阪大学

所属研究機関長 職名 大学院医学系研究科長

氏名 熊ノ郷 淳

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 全国がん登録の円滑な運用のための検証に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医学系研究科・教授
(氏名・フリガナ) 祖父江 友孝・ソブエ トモタカ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2023年5月2日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立大学法人 琉球大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 西田 睦

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 全国がん登録の円滑な運用のための検証に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 病院・特命准教授
(氏名・フリガナ) 増田 昌人・マスダ マサト

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立研究開発法人国立がん研究センター
所属研究機関長 職 名 理事長
氏 名 中 釜 齊

次の職員の（令和）4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 全国がん登録の円滑な運用のための検証に関する研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 院内がん登録室・室長
(氏名・フリガナ) 塚田庸一郎・ツカダヨウイチロウ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立がん研究センター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
 (国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
 (国立保健医療科学院長)

機関名 国立研究開発法人国立がん研究センター

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 中釜 斉

次の職員の(令和)4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 全国がん登録の円滑な運用のための検証に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 全国がん登録分析室・研究員

(氏名・フリガナ) 榊原直喜・サカキバラナオキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。